

子供たちが狙われています！

～ 児童がネット利用で実際に被害に遭った具体例～

警察庁

神奈川県座間市において、自殺願望等をSNS上に投稿するなどした女子高校生3人を含む9人の方が殺害される事件が発生しました。同事件については、被疑者が「死にたい」などの投稿をしていた被害者らと接触し、待ち合わせの日時や場所のやり取りを行っていたことが明らかになっています。犯行の動機・背景等を含め鋭意捜査を推進中ですが、過去にもSNSを通じた殺人事件等が発生しています。

CASE 1 SNSを通じた出会いからの被害

【犯行手口】

- ・ SNSを通じて、被疑者と女子高校生が知り合う
- ・ メール等のやり取りを通じて、被疑者と女子高校生が実際に会う約束をする

【被害実態】

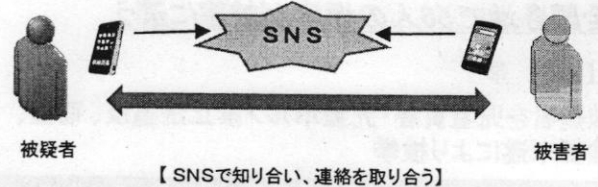
山中に車で連れて行かれ殺害される

【検 挙】

被疑者を殺人・死体遺棄で検挙

【その他】

平成28年には、SNSの利用に起因して略取誘拐の被害に遭った児童が20人も！



犯罪者は理解者のふりをして、子供に近づいてきます！実際に会うのは危険です！

CASE 2 19歳イケメン大学生になりすました犯行

【犯行手口】

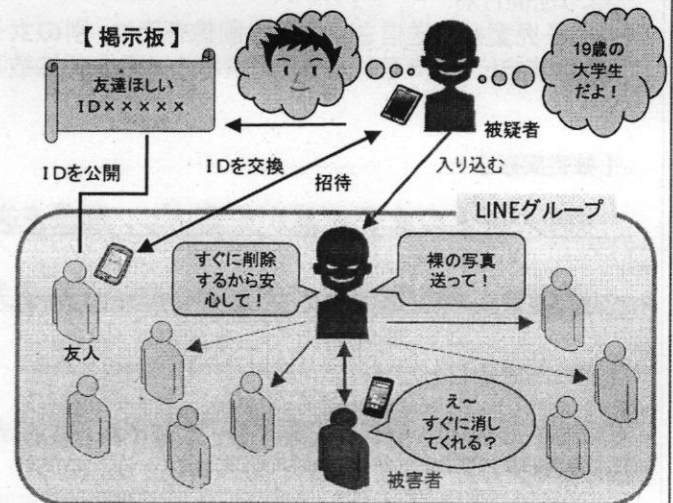
- ・ 19歳の大学生モデルになりすました被疑者が、ネット掲示板に書き込まれた(公開された)LINEのIDを通じて女子中学生と知り合う(お互いにLINEのIDを交換)
- ・ 女子中学生のLINEグループに招待してもらう
- ・ LINEグループ内の女子中学生等から裸の画像を送信させる
- ・ LINEグループ内のほかの女子中学生等からも裸の画像を送信させる(これを繰り返す)

【被害実態】

- ・ 約130人の女子児童が自分の裸の写真を送信させられる
- ・ 裸の写真を送らされた小学生もいる

【検 挙】

46歳の被疑者を児童買春・児童ポルノ禁止法違反により検挙



総計約1,600人の児童とやり取り

友達の友達は「知っている人」ではありません。あなたを狙う犯罪者かもしれません！